

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	学びのサポート キャンパス		
○保護者評価実施期間	2025年11月25日		～ 2025年12月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2025年11月10日		～ 2025年11月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的な知識を持ったスタッフが、マンツーマンで支援を行い、子ども一人ひとり寄り添った丁寧な支援を行える。	定期的カンファレンスを行い、子ども一人ひとりの支援について多角的視点をもって話し合う機会を持っている。 また、常にスタッフが勉強できる環境を作り、研修や勉強会への参加を積極的に促している。	引き続き、外部の研修など積極的に参加することを推奨し、スタッフのスキル向上をめざす。
2	毎回、小集団活動を行うことで、プリントで学んだことを実際の場面で結び付けて学ぶことができる。	プリントで学んだ内容を、小集団の活動中に声がけることで意識することができ、プリントの学びが実際の場面につなげることができ、より充実した学びにする。	スタッフ間での情報共有をしっかりと行い、一人ひとりの課題に合わせた小集団活動の内容にする。
3	保護者とのコミュニケーションを大切にしており、常に子どもの状況や保護者の思いに答えることができる。	送迎時の保護者とのコミュニケーションを大切にしており、リアルタイムで保護者の疑問や不安に思うことのアドバイスができる。	月1回ほど、保護者・支援者対象に勉強会を開催しています。毎回テーマを決めて、一緒に学ぶ機会を設けています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援時間が短い 保護者のレスパイトが少ない	子どもが支援を楽しく過ごせる時間は、1時間～1時間30分が限界と考えており、支援時間を短く設定。 また、送迎時にある保護者との会話を大切に考えるため、お迎えは保護者をお願いしています。	現状の運用がいいと考えております。 しばらくこのままで行う。
2	外遊びが限定される	近くに公園はありますが、交通量が多く危険が伴うため利用しておりません。 室内の活動がほとんどになります。	室内での活動内容を充実させて、マンネリ化しないように職員間で会議を持ち、子どもたちが楽しく過ごせる環境を作る。
3			